

2012年3月期 決算説明会

2012年5月21日

株式会社 平和



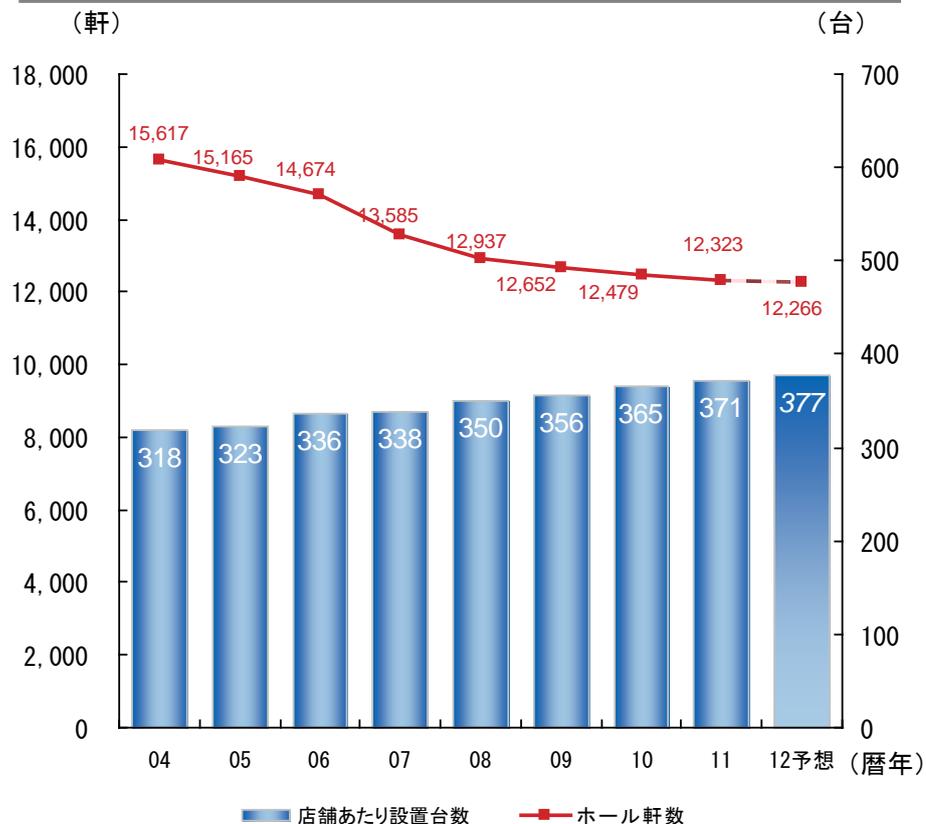
目次

1. パチンコ機・パチスロ機の市場環境
2. 決算ハイライト
3. 2012年3月期 決算
4. 2013年3月期 見通し
5. 株主還元策
質疑応答
参考資料

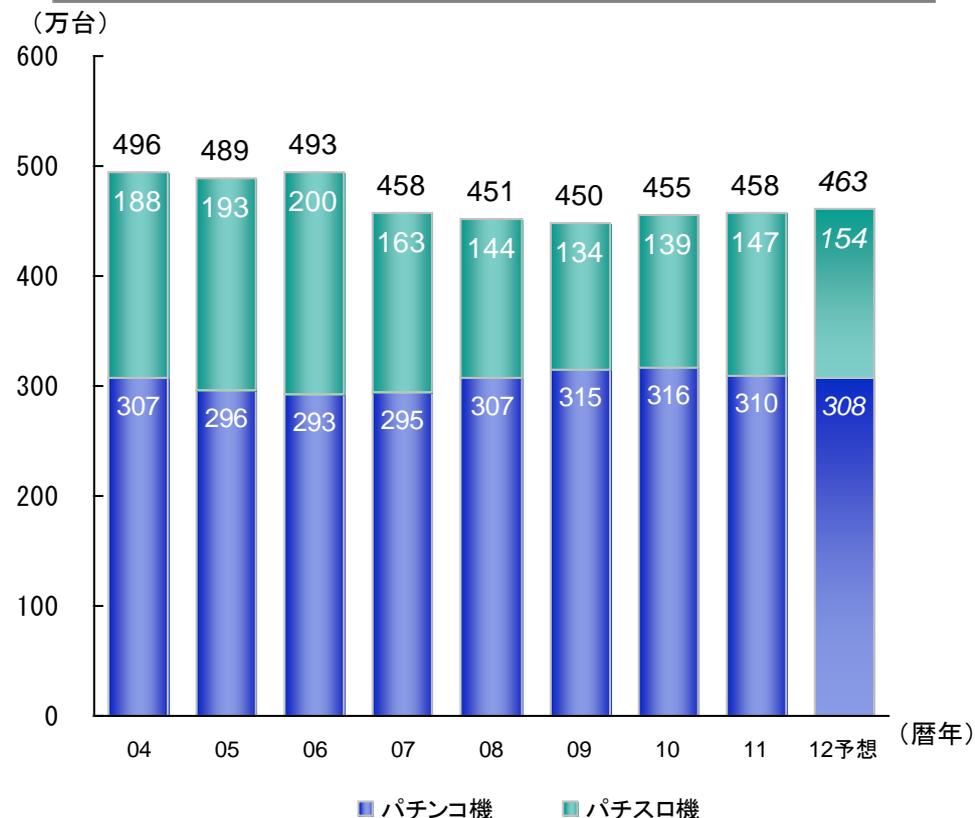
1. パチンコ機・パチスロ機の市場環境

ホール軒数と パチンコ機・パチスロ機の設置台数の推移

ホール軒数と1ホール当たり設置台数



パチンコ機・パチスロ機設置台数

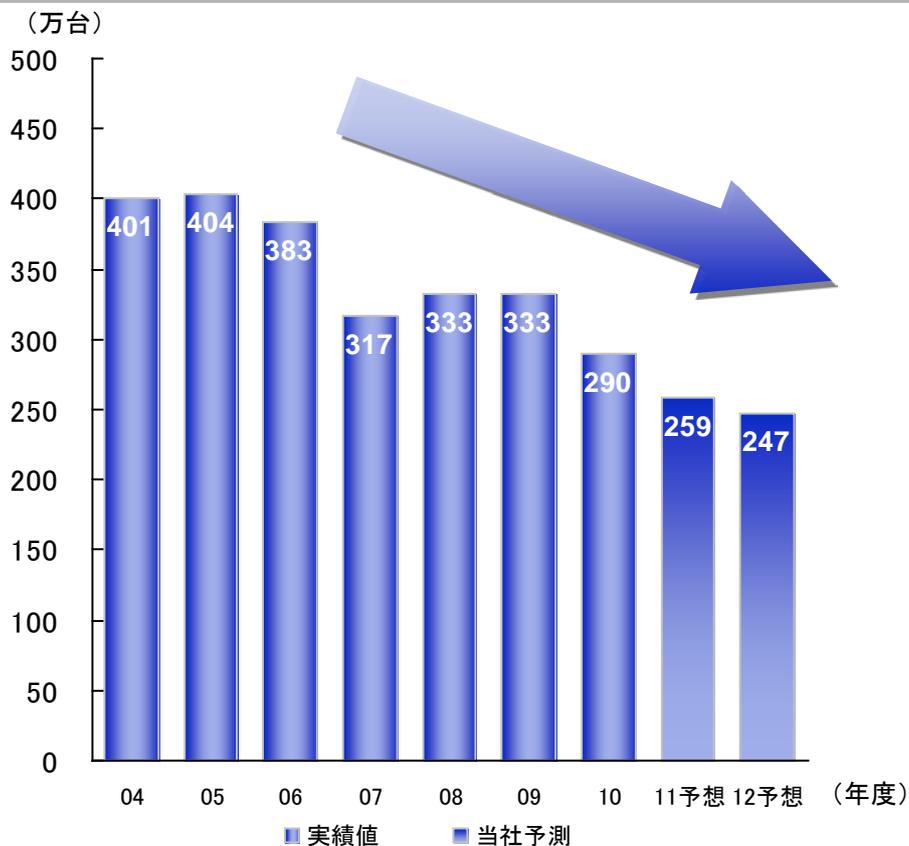


- パチンコホールの倒産件数が過去10年で最少となり、パチンコホールの淘汰が一巡したとみられる
- パチスロ機は人気回復を背景に、設置台数が増加。
2012年の設置台数は、パチンコ機が微減、パチスロ機は増加するものと見込む

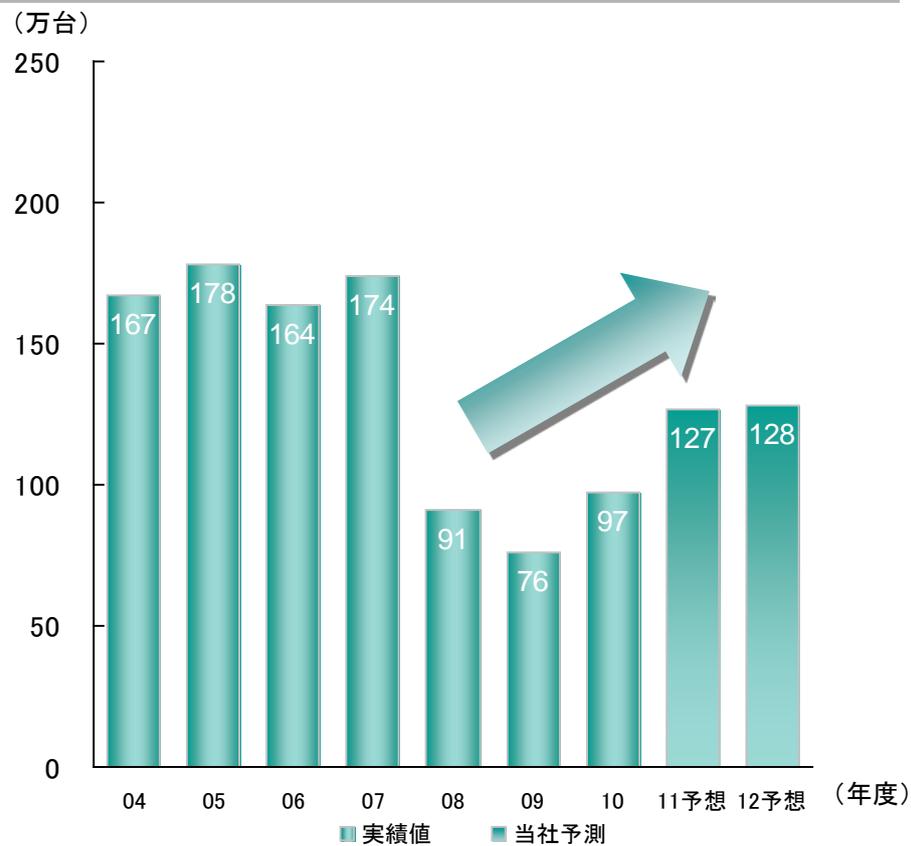
注) データは警察庁発表数値。期間は1月から12月。2012年は当社推計値。

パチンコ機・パチスロ機 市場販売台数の推移

パチンコ機市場の販売台数



パチスロ機市場の販売台数

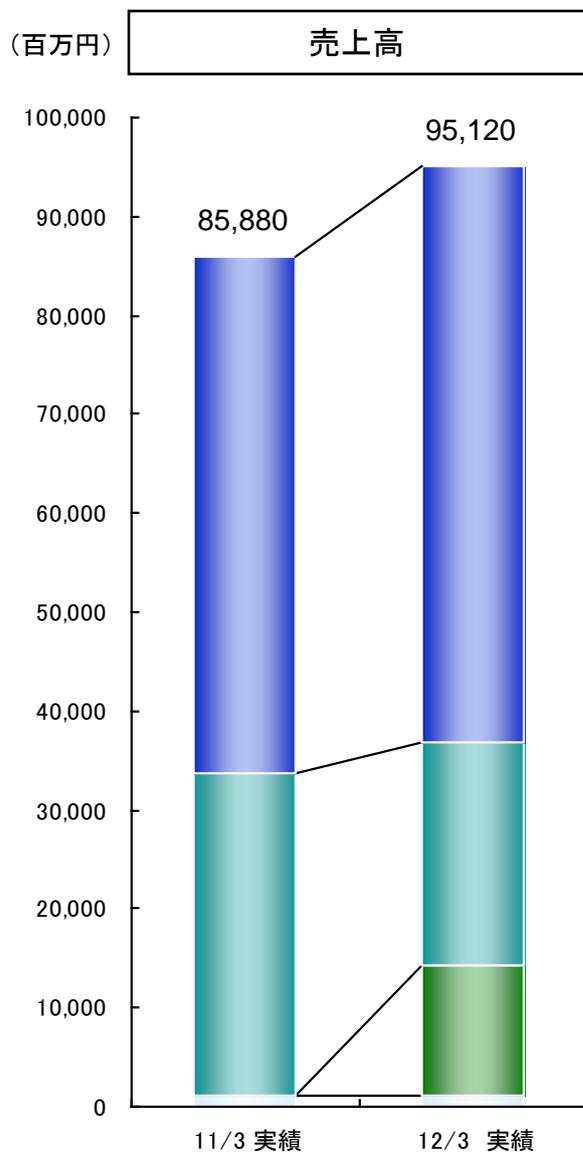


- パチンコ機は下降トレンドにあり、2011年度の販売台数は減少
- パチスロ機は人気回復により、2011年度の販売台数は大幅に増加

注) データは矢野経済研究所の数値。期間は、4月から翌3月。2011年度、2012年度は当社推計値。

2. 決算ハイライト

決算ハイライト



(百万円)	2011/3 実績	2012/3 実績	前期比増減率
売上高	85,880	95,120	10.8%
パチンコ機	52,106	58,252	11.8%
パチスロ機	32,610	22,591	▲30.7%
ゴルフ事業	—	13,228	—
その他	1,162	1,048	▲9.9%
営業利益	15,276	20,741	35.8%
経常利益	24,687	28,282	14.6%
当期純利益	20,451	20,516	0.3%

【連結期間】

	2011年									2012年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平和グループ	2012年3月期											
PGMHグループ										2012年12月期 1Q		

2011年12月31日みなし取得日

➤PGMホールディングス株式会社(12月決算)の2012年12月期第1四半期(2012年1月から3月まで)の業績を連結

➤みなし取得日 2011年12月31日

3. 2012年3月期 決算

連結損益計算書

2012年3月期実績

(百万円)	2011/3 実績	2012/3 実績	前期比 増減率	2012/3 実績 平和グループ (PGMH除く) 連結
売上高	85,880	95,120	10.8%	81,346
パチンコ機	52,106	58,252	11.8%	58,252
パチスロ機	32,610	22,591	▲30.7%	22,591
ゴルフ事業	—	13,228	—	—
その他	1,162	1,048	▲9.9%	502
売上総利益	39,151	44,921	14.7%	43,856
売上総利益率	45.6%	47.2%	+1.6pt	53.9%
営業利益	15,276	20,741	35.8%	21,642
営業利益率	17.8%	21.8%	+4.0pt	26.6%
経常利益	24,687	28,282	14.6%	30,165
当期純利益	20,451	20,516	0.3%	22,047

▶ 売上高

- ・パチンコ機の販売が堅調となる一方、パチスロ機販売台数は低調に推移
- ・ゴルフ事業を追加

▶ 営業利益

- 遊技機事業においてリユースの促進、部材調達コスト低減の取組みによる売上総利益の向上に伴い、営業利益が増加

▶ 経常利益

- 負ののれん8,602百万円計上

■ 少数株主損失

- ▲262百万円

販売費及び一般管理費 減価償却費・設備投資・EBITDA

2012年3月期実績

(百万円)	2011/3 実績	2012/3 実績	前期比 増減率	2012/3 実績 平和グループ (PGMH除く) 連結
販管費	23,875	24,180	1.3%	22,213
人件費	4,407	5,851	32.8%	4,964
販売費	6,488	6,448	▲0.6%	6,035
販売手数料	2,931	2,513	▲14.3%	2,513
広告宣伝費	2,612	2,841	8.8%	2,697
経費	12,978	11,880	▲8.5%	11,214
試験研究費	9,774	7,889	▲19.3%	7,889

➤販管費合計
販管費はゴルフ事業を追加したことにより、前期比1.3%の増加

➤販売費
[広告宣伝費]
・遊技機事業 2,697百万円
・ゴルフ事業 144百万円

[販売手数料]
パチスロの販売台数減少により、前期比14.3%減少

➤経費
試験研究費の減少により、前期比8.5%減少

減価償却費・設備投資

(百万円)	2011/3 実績	2012/3 実績
減価償却実施額	3,362	3,963
設備投資	2,202	3,301

EBITDA

(百万円)	2011/3	2012/3
EBITDA※	18,538	24,616

※EBITDA=営業利益+減価償却費

遊技機事業(販売台数実績)

販売台数実績

(台)	2011/3 実績	2012/3 計画 ('11.10.17公表)	2012/3 実績	前期差異	計画差異
販売台数	279,310	249,700	266,027	▲13,283	+16,327
パチンコ機	168,219	169,300	187,308	+19,089	+18,008
(発売機種数)	(12)	(10)	(11)	(▲1)	(1)
パチスロ機	111,091	80,400	78,719	▲32,372	▲1,681
(発売機種数)	(6)	(9)	(9)	(3)	(0)



主要タイトル

パチンコ

タイトル名	累計販売台数	発売時期
戦国乙女2	34,000台	2011年6月
南国育ち in 沖縄	26,500台	2011年10月



パチスロ

タイトル名	累計販売台数	発売時期
ぱちすろ黄門ちゃま 光れ！正義の印籠編！	23,000台	2011年7月
新ドロンジョにおまかせ	13,500台	2012年2月

©C.A.L/2011

遊技機事業(業績)

2012年3月期実績

(百万円)	2011/3 実績	2012/3 計画 (' 11.10.17公表)	2012/3 実績	前期比 増減率	計画比 増減率
売上高	84,717	75,100	80,843	▲4.6%	7.6%
パチンコ機	52,106	52,300	58,252	11.8%	11.4%
パチスロ機	32,610	22,800	22,591	▲30.7%	▲0.9%
売上総利益	38,595	37,700	43,635	13.1%	15.7%
パチンコ機	20,777	23,700	29,732	43.1%	25.5%
パチスロ機	17,817	14,000	13,903	▲22.0%	▲0.7%
売上総利益率	45.6%	50.2%	54.0%	+8.4pt	+3.8pt
営業利益	17,688	19,400	24,637	39.3%	27.0%
パチンコ機	8,726	12,000	17,023	95.1%	41.9%
パチスロ機	8,962	7,400	7,613	▲15.0%	2.9%
営業利益率	20.9%	25.8%	30.5%	+9.6pt	+4.7pt
パチンコ機販売台数(台)	168,219	169,300	187,308	11.3%	10.6%
本体	107,611	90,600	99,030	▲8.0%	9.3%
ゲージ盤	60,808	78,700	88,278	45.2%	12.2%
パチスロ機販売台数(台)	111,091	80,400	78,719	▲29.1%	▲2.1%
筐体(本体)	61,512	33,500	30,676	▲50.1%	▲8.4%
ユニット	49,579	46,900	48,043	▲3.0%	2.4%

注) 内部取引を消去している。

- ▶ パチンコ機の販売は堅調だったものの、パチスロ機の販売が伸び悩み、売上高は前期比4.6%減少
- ▶ 震災の影響による部材不足が懸念されたためリユースを促進したことに加え、部材調達コスト低減の取組みにより、売上総利益が大きく向上。また、売上総利益率の高いパチンコ機のゲージ盤の比率が増加したことも売上総利益の向上に寄与。

ゴルフ事業(業績)

2012年3月期実績

(百万円)	(ご参考) 2010/12 1Q (2010年1月1日から2010年3月31日) ※1	(ご参考) 2011/12 1Q (2011年1月1日から2011年3月31日) ※2	2012/3 実績 (2012年1月1日から2012年3月31日) ※3、4	(ご参考) 2012/12 1Q (2012年1月1日から2012年3月31日) ※5
売上高	15,432	12,853	13,228	13,774
売上総利益	1,930	796	1,059	1,065
売上総利益率	12.5%	6.2%	8.0%	7.7%
営業利益	▲395	▲1,401	▲908	▲1,142

▶売上高

- ・1月から3月は、オフシーズン
- ・震災の影響から回復したものの、記録的な低温・降雪などの天候不順が続いた

▶営業利益

- ・上記売上高の要因により、営業赤字

※1. 2010/12 1QはPGMホールディングス株式会社の2010年12月期第1四半期の決算数値

2. 2011/12 1QはPGMホールディングス株式会社の2011年12月期第1四半期の決算数値

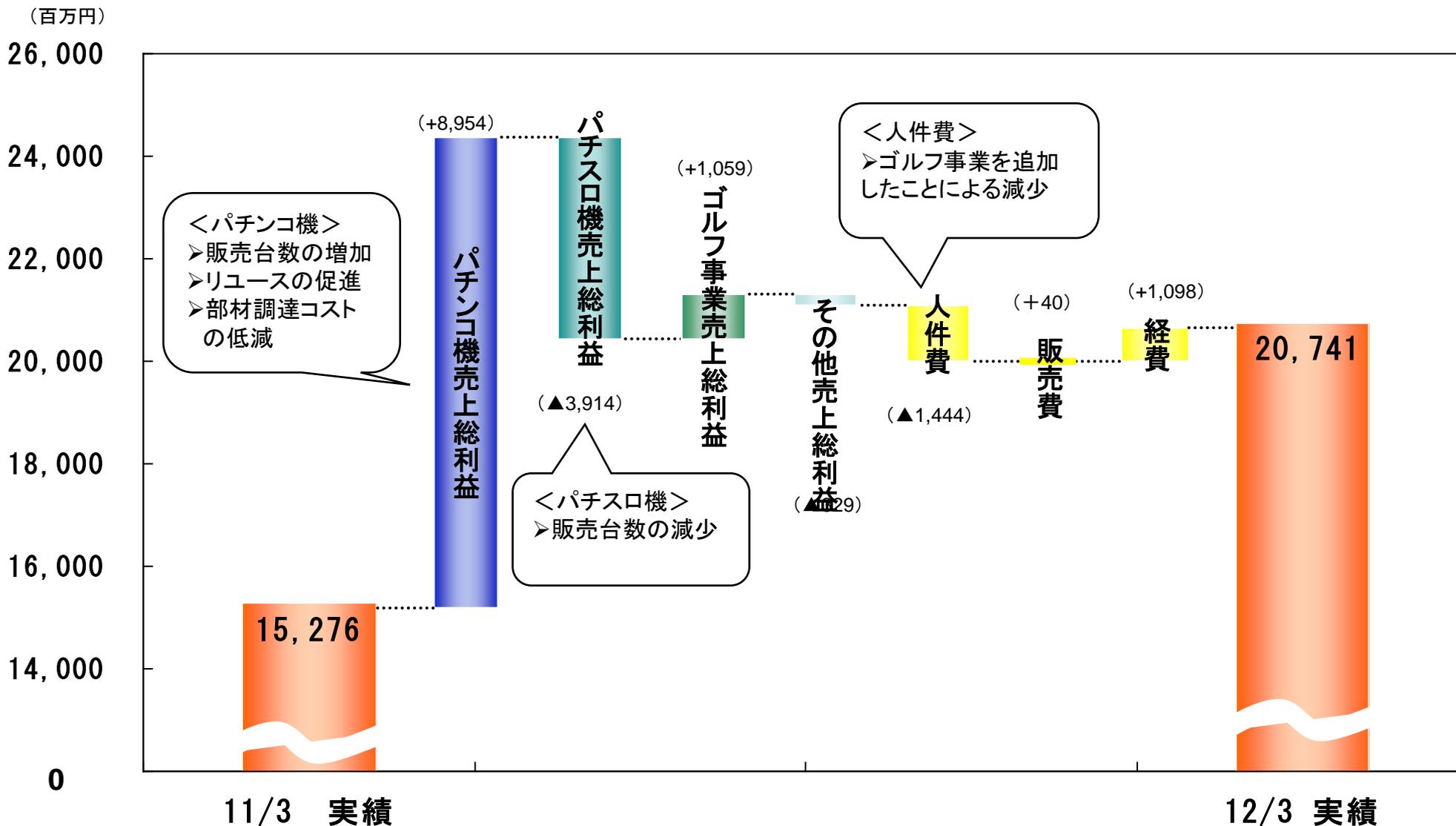
3. 2012/3実績は、2012年1月から2012年3月までの期間

4. 2012/3実績は、内部取引を消去している。

5. 2012/12 1QはPGMホールディングス株式会社の2012年12月期第1四半期の決算数値

営業利益 要因分析

営業利益 要因分析



連結貸借対照表(要約)

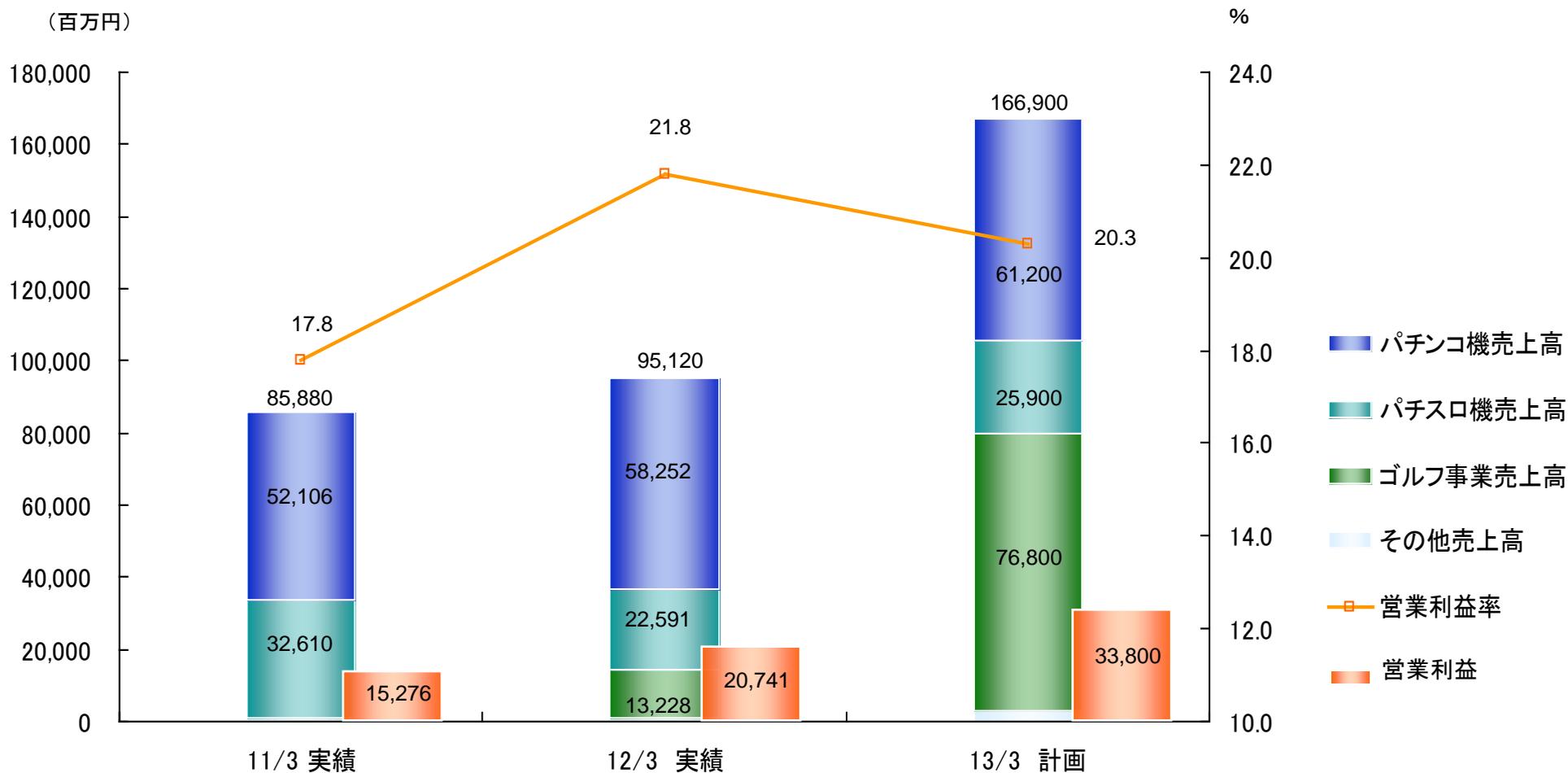
(百万円)	2011年3月期末	2012年3月期末	増減額	備考
流動資産	88,439	126,560	38,120	
うち現金及び預金	24,541	37,756	13,215	
固定資産	60,343	280,315	219,971	
うち土地	17,509	183,292	165,783	
資産合計	148,783	406,875	258,092	
流動負債	34,918	72,062	37,143	
うち1年内返済予定 の長期借入金	6,518	21,504	14,986	うち平和増加分50億円
固定負債	17,146	209,987	192,840	
うち長期借入金	1,122	134,818	133,695	平和増加分458億円、PGMH889億円
うち負ののれん※	12,903	4,301	▲8,602	2013年3月期上期までに償却終了
うち会員預り金	—	39,262	39,262	
負債合計	52,065	282,049	229,983	
純資産	96,717	124,826	28,108	
株主資本	96,338	111,834	15,495	
少数株主持分	—	11,793	11,793	
負債純資産合計	148,783	406,875	258,092	

※2007年9月30日をみなし取得日とした平和とオリンピアの株式交換時に発生した「負ののれん」

4. 2013年3月期 見通し

連結業績推移

連結業績推移



連結損益計算書

2013年3月期計画

(百万円)	2012/3 実績		2013/3 計画		前期比 増減率
	上期	通期	上期	通期	
売上高	44,779	95,120	86,100	166,900	75.5%
パチンコ機	29,119	58,252	35,300	61,200	5.1%
パチスロ機	15,385	22,591	8,100	25,900	14.6%
ゴルフ場	—	13,228	41,100	76,800	480.6%
その他	274	1,048	1,600	3,000	186.2%
売上総利益	25,778	44,921	33,300	64,000	42.5%
売上総利益率	57.6%	47.2%	38.7%	38.8%	▲8.4pt
営業利益	15,198	20,741	18,400	33,800	63.0%
営業利益率	33.9%	21.8%	21.4%	20.3%	▲1.5pt
経常利益	20,079	28,282	21,600	35,700	26.2%
当期純利益	13,525	20,516	14,200	23,300	13.6%

▶ 売上・利益面
ゴルフ事業の追加により、前期を大きく上回る

▶ 経常利益
中間までに4,301百万円計上し、負ののれんの償却が終了

販売費及び一般管理費 減価償却費・設備投資・EBITDA

2013年3月期計画

(百万円)	2012/3 実績		2013/3 計画		前期比 増減率
	上期	通期	上期	通期	
販管費	10,579	24,180	14,900	30,200	24.9%
人件費	1,976	5,851	3,600	7,400	26.5%
販売費	3,534	6,448	3,600	8,200	27.2%
販売手数料	1,502	2,513	1,100	2,700	7.4%
広告宣伝費	1,588	2,841	1,500	3,400	19.7%
経費	5,067	11,880	7,700	14,600	22.9%
試験研究費	3,444	7,889	4,900	8,800	11.5%

➤販管費はゴルフ事業を追加したことにより、増加。

➤人件費
遊技機事業 4,100百万円
ゴルフ事業 3,300百万円

➤広告宣伝費
遊技機事業 2,800百万円
ゴルフ事業 600百万円

➤販売手数料
パチスロの販売台数増加を見込み、
前期比7.4%上昇

減価償却費・設備投資

(百万円)	2012/3	2013/3
減価償却実施額	3,963	7,900
設備投資	3,301	9,800

EBITDA

(百万円)	2012/3	2013/3
EBITDA※	24,616	41,600

※EBITDA=営業利益+減価償却費

遊技機事業(販売台数計画)

販売計画

(台)	2012/3 実績		2013/3 計画		前期差異
	上期	通期	上期	通期	
販売台数	145,772	266,027	145,000	290,000	+23,973
パチンコ機	93,358	187,308	115,000	200,000	+12,692
(発売機種数)	(5)	(11)	(7)	(10)	(▲1)
パチスロ機	52,414	78,719	30,000	90,000	+11,281
(発売機種数)	(6)	(9)	(3)	(7)	(▲2)

ルパン三世
World is mine



©モンキー・パンチ/TMS・NTV

めぞん一刻
夏色の風と



©高橋留美子/小学館

発売タイトル

パチンコ

タイトル名	発売時期
ルパン三世 World is mine	2012年4月
麻雀物語 麗しのテンパイ乙女	2012年5月

パチスロ

タイトル名	発売時期
ねえーねえー島娘	2012年4月
めぞん一刻 夏色の風と	2012年7月

遊技機事業(損益計画)

2013年3月期計画

(百万円)	2012/3 実績		2013/3 計画		前期比 増減率
	上期	通期	上期	通期	
売上高	44,504	80,843	43,400	87,100	7.7%
パチンコ機	29,119	58,252	35,300	61,200	5.1%
パチスロ機	15,385	22,591	8,100	25,900	14.6%
売上総利益	25,644	43,635	20,900	42,300	▲3.1%
パチンコ機	15,656	29,732	15,800	26,400	▲11.2%
パチスロ機	9,987	13,903	5,100	15,900	14.4%
売上総利益率	57.6%	54.0%	48.2%	48.6%	▲5.4pt
営業利益	16,449	24,637	10,800	22,000	▲10.7%
パチンコ機	10,169	17,023	9,100	13,200	▲22.5%
パチスロ機	6,279	7,613	1,700	8,800	15.6%
営業利益率	37.0%	30.5%	24.9%	25.3%	▲5.2pt
パチンコ機販売台数(台)	93,358	187,308	115,000	200,000	6.7%
本体	38,652	99,030	70,500	101,500	2.5%
ゲージ盤	54,706	88,278	44,500	98,500	11.6%
パチスロ機販売台数(台)	52,414	78,719	30,000	90,000	14.3%
筐体(本体)	26,445	30,676	4,500	39,000	27.1%
ユニット	25,969	48,043	25,500	51,000	6.2%

注) 内部取引を消去している。

- 売上高は、販売台数の増加により前期比7.7%増の871億円
- 今期は前期ほどのリユースの効果を多く見込んでいないため、売上総利益は減少する見込み。

遊技機事業(課題と施策)

課題

販売台数規模の拡大



ブランド力の底上げ
長期稼働機種の開発

施策

トレンドの先読み・早期取込みによる商品化の実現

▶市場トレンドの変化にいち早く対応できる仕組み強化

人材の再配置

▶トレンドの検証強化

半年～1年後の市場トレンドを捉えた機種開発

パチンコ: 取り組み継続で、更なる販売台数規模の拡大を図る

パチスロ: 営業との連携強化を実施中、課題である稼働の底上げを図る

5. 株主還元策

株主還元策

配当

【配当方針】 企業価値の増大を図りながら、安定配当を行う

⇒業績の安定を見込み、普通配当を年間10円増配

2012年3月期

中間配当 25円
期末配当 35円
(普通配当25円、記念配当10円)

合計 60円

2013年3月期

中間配当 30円
期末配当 30円

合計 60円



株主への還元は経営上の最重要事項の一つであり、
今後とも安定して高水準の配当を実施できるよう最大限努力

質疑応答

お問い合わせ先／本資料に関するご注意

お問い合わせ先

株式会社平和 経営企画室

TEL: 03-3839-0701

WEBサイトアドレス: <http://www.heiwanet.co.jp>

本資料に関するご注意

本資料には、当社及び当社の関係会社の計画、見通し、目標、予想数値等の将来に関する記述が含まれている場合がございますが、これらは現時点で入手可能な情報に基づく判断及び仮定に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、将来における実際の業績は、今後の事業環境、経済状況、金融市場の状況その他の様々な要因により、上記将来に関する記述の内容と大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。